

**Q** 小中学校における児童虐待やいじめの把握について。

**A** 児童生徒の健康状態の日常的な観察や健康診断、保健室での健康相談により心身の状態を把握すると共に家庭訪問により家庭状況の把握にも務めており、さらに訴えやすい環境を作るため学校生活アンケートを定期的に実施している。教育委員会では、生徒指導担当教員や児童委員を対象に虐待の基本的事項や児童虐待を早期に発見する施策として児童相談所の指導員を講師に招聘し研修を実施している。今後とも、どの学校でもどの児童生徒にも起こる可能性があるという意識で早期発見に努めたい。  
(教育次長)

議席10番

田山 文雄 議員



持続可能な開発のための目標(SDGs)について

**Q** 国連サミットにおいて、貧困や格差をなくし、気候変動、健康増進、教育の拡充、経済成長などの課題解決に向け2030年の達成を目指して取り組む国際的な目標がSDGsであるが、当町としての認識、取組について。

**A** 当町としてもしつかり取組む考えであり、第6次境町総合計画の基本構想に盛り込んでいく。その他、来年度のSDGsモデル事業選定について応募をしたところであり、今後町として、しつかり取組んでいきたい。  
(町長)

食品ロス削減に向けての取組について

**Q** 日本では年間2,800万トンの食品廃棄物が出ており、このうち646万トンの食品ロスが発生している。世界中で飢餓に苦しむ人々に向けて援助されている食料(年間320万トン)の2倍にもなっているが、学校給食のロスを含め当町における取組について。

**A** 今後HPにおいて、食品ロスの啓発並びに広報紙での特集を行っていききたい。フードバンク

などの循環型社会や啓発バック(持ち帰りバック)普及なども必要と考えている。  
(町長)

英語教育について

**Q** 全小中学校において、フィリピン人の英語教師による英語教育が開始され約1年になるが、現状や課題、今後の取組について。

**A** 英語に慣れ親しむ時間を確保し英語力をしつかり修得するため、英語授業にとらわれない英語活動を実施しており、全児童のアンケートにおいて84.7%の高い満足度となっているが、さらなる学習満足度の向上を目標に取り組んでいく。また、今年度から英検の全額補助を実施しているが、受験率が小学校9.1%、中学校23.3%となつていくことから、受験率の向上を図っていききたい。さらに来年度には、1名のフィリピン人講師を加え、職員及び町民の方を対象とした英会話教室等を実施していく。財源については、国の交付税措置により持続的に確保できる事業である。  
(町長)

## 平成31年 第1回臨時会

4月2日召集 全議案・原案可決

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (境町税条例の一部改正)	平成31年4月2日	即日 原案承認
議案第26号	工事請負契約の締結について	平成31年4月2日	即日 原案可決

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額
境町一般会計 (承認第4号)	211億9,275万5,000円	2,268万円	212億1,543万5,000円